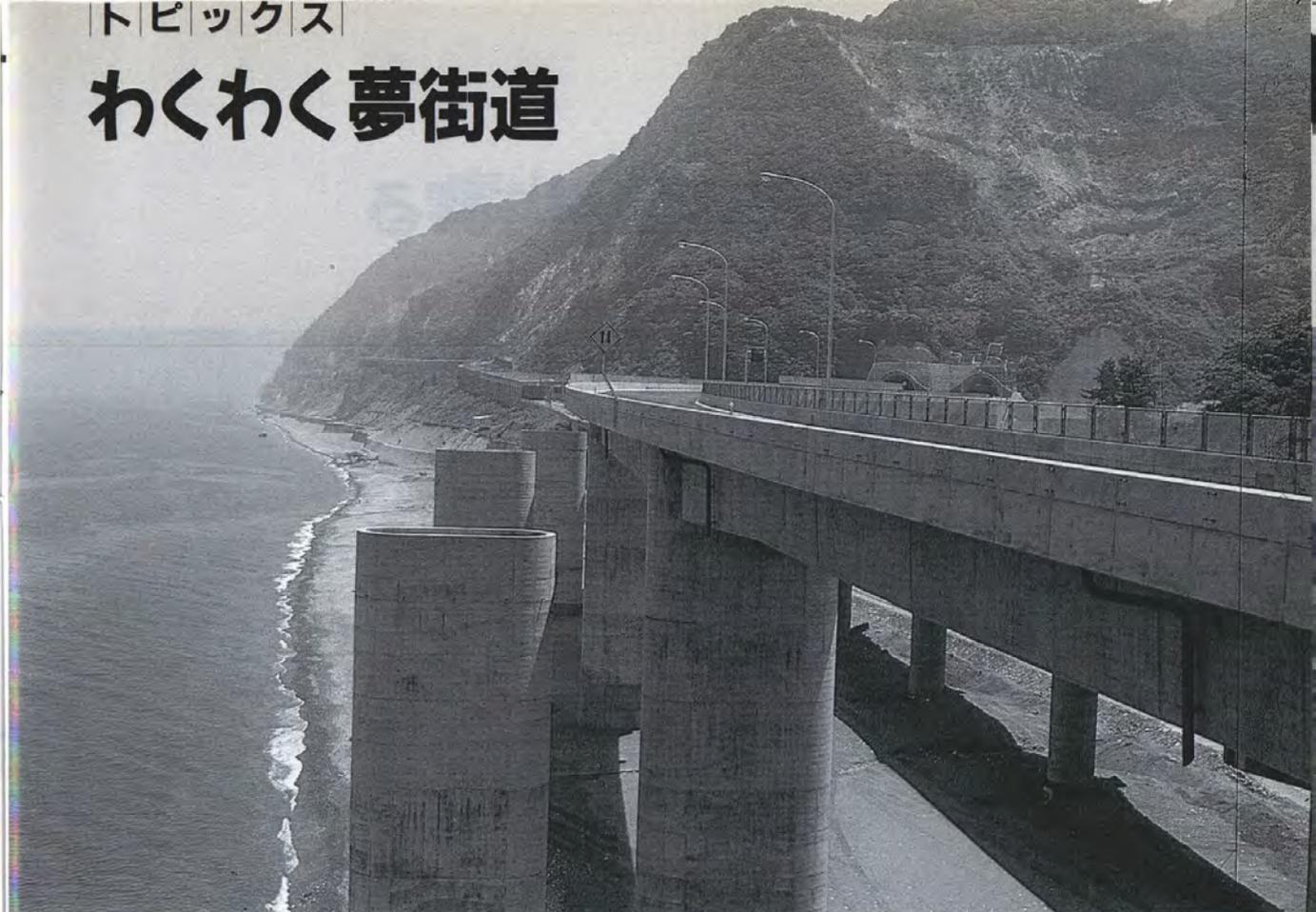


わくわく夢街道



7月20日、北陸自動車道が全通。

7月20日午後四時、

北陸自動車道朝日～名立谷浜（新潟県）間約60キロメートルが全通します。

これにより、昭和41年の着工以来、

22年余の歳月を経て、新潟黒崎～米原間が一つになり、

北陸自動車道が全線開通します。



先端技術の粋を集めて、 フォッサマグナを貫通

北陸自動車道は総延長四百八十三キロメートルで、今回開通する区間は、この十四パーセントにあたります。ここは、糸魚川・静岡構造線（フォッサマグナ）と呼ばれる大断層地帯を貫通しており、天下の険、親不知・子不知海岸を通っています。

したがって、二千八百四億円の巨費と先端土木技術の粋を集めて、全長三・四キロメートルに及ぶ親不知海岸高架橋や二十二本のトンネル、四十一橋の橋梁を設けました。これらは区間の七十八パーセントを占めているため、ほとんどが暫定二車線で対面交通となります。

東京まで5時間半に

北陸自動車道は、日本海側唯一の縦貫道です。長岡市で関越自動車道と接続し富山から東京までの所要時間が五時間半になり時間距離が大幅に短縮されます。地すべり対策、雪氷対策が確立しているため、天候による影響を受けにくく、定時的かつ安定な輸送を確保します。

また、名神高速道路とも接続するため、北陸、関越、東名、名神の各高速道路からなる一大高速ネットワークが完成します。これにより富山と首都圏、関西圏、中京圏が強く結ばれ、地域間の交流がより一層活発になり、本県の産業、経済、文化、観光リゾートなどの開発振興に図り知れない活力を与えるものと大きく期待されます。

イメージアップ作戦

県では、開通を機に、イメージアップ作戦を展開します。東京では「いきいき富山フェスティバル」、「いきいき富山観光キャラバン」首都圏では、テレビスポットも放映します。

県内では、県内外の企業、観光関係者などを集めた「88いきいきとやまパフォーラム」を開催します。また、全インターチェンジを花で飾ります。

地元朝日町では、七月三日全国から参加者を募り、「おはようハイウェイ歩こう会」など多彩なイベントも開催されます。

新しい北陸道は、今、二十一世紀への夢街道として大きく発展しようとしています。

宇奈月温泉がグリーンと近くなる 黒部宇奈月線バイパス開通

北陸自動車道全線開通にあわせ、七月十五日黒部インターから宇奈月温泉に通じる県道黒部宇奈月線バイパス（延長約二・四キロメートル）が開通します。観光地宇奈月への新ルートとして、大きく期待されています。

